

令和6年度

総合型選抜Ⅰ期 問題 **大学**

課題作文

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 受験票に記載された学科と解答する学科に相違がないか、確認すること。
また、健康栄養学科・看護学科・理学療法学科・作業療法学科の受験者は、受験票に記載された科目と問題冊子に相違がないか確認すること。異なる場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ③ 開始の合図の後、解答用紙に「氏名」、「受験番号」を記入すること。受験番号は算用数字で記入すること。
- ④ 試験時間は、60分です。
- ⑤ 句読点は1字として数えること。
- ⑥ 下書きは、問題用紙の余白・裏面を使用すること。
- ⑦ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

設問1 次の記事では、物価上昇による生活費への圧迫について述べられています。
あなたが衣・食・住・情報など生活面での工夫をしたら、どのようなやり方があるかについて400字以内で記述してください。

見出し：6月消費者物価22カ月連続上昇(朝日新聞・朝刊 2023年7月22日抜粋)

6月の消費者物価指数(2020年=100)は、値動きの大きい生鮮食品をのぞいた総合指数が105.0%で、前年同月より3.3%上がった。電気代の値上げで上昇率は2カ月ぶりに拡大。食品の値上がりも止まらず、上昇は22カ月連続となった。

総務省が21日に発表した。品目別では、生鮮食品をのぞく食料が9.2%上がり、高水準の上昇が続いている。とくにタマゴの値段が高止まりしており、35.7%アップした。国産の豚肉も9.4%、植物油も16.5%上がるなど、食卓への影響は厳しさを増す。

承諾番号 24-0994



※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。

設問2 次の文章を読んで、①「サーキュラーエコノミー(循環型経済)とは何か」についての説明と、②身の回りで再利用することで、ごみを減らせると思うものについて400字以内で記述してください。

見出し：筆箱に学ぶ、循環型経済 廃油・間伐材使い隈研吾さんデザイン(朝日新聞・朝刊、2023年5月10日抜粋)

資源の循環活用で、地球環境の保護と経済活動の両立をめざす「サーキュラーエコノミー(CE、循環型経済)」を体感してもらうため、市原市は市立南総中学校(野村雅彦校長)の全校235人に、地元の間伐材※1などを再利用したプラスチック製のペンケースを配った。1年間使った後に回収して、校内や街中で使うベンチなどに「アップサイクル※2」する。

—中略— 4月27日に同校でペンケースの交付式があり、生徒たちは、製品をプロデュースした工学博士の春日秀之さんから、限りある資源を循環活用する大切さについての講義を受けた。

式典後、生徒会長は、「SDGsとなると大きな目標で個人ではできないこともありますが、ペンケースだと、とても身近な部分で社会のためになれるんだな、と感じました」と話した。

承諾番号 24-0994

※1 間伐材：植林した木が成長すると、森林の中が混み合い、枝葉を広げることが難しくなる。そこで一部の木々を伐採する「間伐(かんばつ)」を行なうことで、森林の中により多くの光が降り注ぎ、残った木が成長できるようになる。この「間伐」の作業を行った際に伐採される木材を、「間伐材」といい、大切な資源を無駄にしないために、「間伐材」を山の中に切り捨てずに利用することが求められている。

※2 アップサイクル：本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。